

一般社団法人 日本私立薬科大学協会
令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

I. 事業の概要

6年制薬学教育が平成18年度に導入されて以来既に17年が経過する中、平成25年度には、薬学教育モデルコア・カリキュラムが改訂され、これに基づく薬学教育が、平成27年度から実施されている。

令和4年度においては、薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）が決定し、令和6年度入学生から適用されることになっている。また、医療人として共通の価値観を共有すべく、医学・歯学・薬学が同時に改訂されることになる。

このほか文部科学省は、令和4年8月に、「6年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめ」を公表、その後令和5年3月には設置基準の改正が行われ、ここでは、入学定員の抑制等に対する具体的な施策が示された。

これらの課題に、日本私立薬科大学協会（以下「協会」という。）及び各大学は、連携して取り組んだところである。

この間、薬学実務実習、薬学共用試験及び薬学教育第三者評価の実施等様々な課題についても、本協会の理事会、総会及び各種委員会を中心に検討を行うと共に、全国薬科大学長・薬学部長会議、文部科学省及び厚生労働省等の調査・検討等に対応したところである。

また、本年度は役員改選が行われ、令和4年6月7日開催の第1回通常総会において新役員等が決定し、新しい体制の下で協会の充実・発展に取り組んでいるところである。

個々の事業内容については以下のとおりである。

1. 教育、研究に関する調査、検討

(1) 教育、研究体制等の整備について

6年制薬学教育に関する諸課題について調査・検討を行った。

また、全国薬科大学長・薬学部長会議、薬学教育協議会、薬学共用試験

センター及び薬学教育評価機構等との情報の共有を図った。

(2) 実務実習について

本年度も実務実習に関する諸課題について検討を行った。

また、改訂コアカリに基づく薬学実務実習の課題と対応について、第14回「薬学実務実習に関する連絡会議」（令和4年12月27日開催）において議論された。関連して、薬学教育協議会から、次期改訂コアカリに伴う「薬学実務実習に関するガイドライン」に関するヒアリングが行われ、本協会としての考え方を示した。

このほか令和3年度私立薬科大学（薬学部）実務実習実態調査を実施すると共に、その結果を踏まえ、薬学教育協議会において検討することとなった。

(3) 薬学共用試験について

令和4年度薬学共用試験(CBT、OSCE)の実施状況及び薬学共用試験の課題等について報告を受け、協会として検討し了承した。

(4) 薬学教育第三者評価について

薬学教育評価機構の活動状況等について報告を受けた。

(5) 薬剤師国家試験問題に関する検討について

第107回薬剤師国家試験（令和4年2月19日・20日実施）を受けて、協会の「薬剤師国家試験問題検討委員会」検討7部会（「物理・化学・生物」、「衛生」、「薬理」、「薬剤」、「病態・薬物治療」、「法規・制度・倫理」、「実務」）による検討結果を踏まえ、同検討委員会で調査検討を行い、報告書としてまとめ、協会会長名で厚生労働省へ提出した。（令和4年7月6日付）

なお、令和4年度厚生労働省医道審議会「薬剤師国家試験事後評価部会」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年同様、書面による開催となった。

2. 協会の管理運営等

(1) 役員の任期満了に伴う役員等の選任について

現役員の任期満了（令和4年6月総会まで）に伴う役員等（会長、副会長、常務理事、理事、監事、参与等）の選任については、関係規程による手続きを基に、令和4年6月7日開催の第1回通常総会において承認された。

(2) 役員（理事）の補充人事について

令和4年9月30日付で、1名の理事辞任に伴う補充人事については、令和4年11月29日開催の第2回通常総会において承認された。

(3) 令和3年度事業報告・決算（案）及び監査報告について

令和3年度事業報告・決算（案）及び監査報告については、令和4年4月19日の監事監査実施を受け、令和4年6月7日開催の第1回通常総会において承認された。

(4) 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）については、令和4年11月29日開催の第2回通常総会において承認された。

(5) 会長及び副会長の職務執行状況の報告について

会長及び副会長の職務執行状況については、令和4年6月7日開催の第76回理事会及び令和4年11月29日開催の第81回理事会において報告を行った。

(6) 令和4年度教育賞の授与について

教育賞は、薬学教育に多大な貢献をし、薬学教育の進歩発展に特に功績のあった者に授与するものであり、本年度は5名を選考し、令和4年11月29日開催の第2回通常総会において承認し、教育賞を授与した。

(受賞者) 5名

名徳 倫明 (大阪大谷大学薬学部 教授)

杉原 多公通 (新潟薬科大学薬学部 教授・副学長)

野田 幸裕 (名城大学薬学部 教授)

松野 純男 (近畿大学薬学部 教授)

(7) 学生の入学定員及び入学者数の取扱いについて

学生の入学定員及び入学者数調（令和4年4月1日現在）については、令和4年5月17日開催の第75回理事会及び令和4年6月7日開催の第1回通常総会において報告を行った。

また、協会の「入学定員遵守についての申合せ」については、令和5年度から廃止することとし、令和4年11月29日開催の第2回通常総会において承認された。

(8) 各種調査資料の作成について

毎年度実施している学生数及び教職員数、学生納付金、及び入学志願者の動向等の実態調査を行い、協会及び各大学の参考資料とした。

(9) 会報（「日本私立薬科大学協会だより」）の刊行について

当協会が発行する会報「協会だより」については、事業活動状況（理事会等議事録、各種調査結果等）、事業計画・報告、収支予算・決算及び大学紹介等の内容で年2回刊行し、各大学へ配布した。

(10) 広報活動について

「6年制薬学ガイド」については、6年制薬学教育への理解及び普及を図る観点から毎年度刊行し、これを全国の高校、予備校、大学及び関係団体等に配布している。

今回、「6年生薬学ガイド2024」については、令和6年度入学生から適用する「薬学教育モデル・コア・カリキュラム」（令和4年度改訂版）の内容を織り込むことから、刊行時期は令和5年5月頃を予定している。

なお、本薬学ガイドについては、来年度も引き続き刊行することが了承された。

(11) 実務実習検討委員会の検討結果について

- ① 第1回実務実習検討委員会（令和4年9月14日開催）

次期コアカリ改訂に合わせ、改訂が予定される「薬学実務実習に関するガイドライン」に関し、薬学教育協議会から協会に求められた検討項目及びヒアリングの対応については、「実務実習検討委員会」において検討を行い、対応した。

② 第2回実務実習検討委員会（令和4年11月22日開催）

国公立大学薬学部長（科長・学長）会議から、日本製薬団体連合会会長あてに要望された「薬学生の就職・採用活動に関するお願い」に関する協会の対応については、「実務実習検討委員会」において検討を行い、第81回理事会に報告した。

（就職活動の一環としてインターンシップを採用選考に活用するという、3省合意（経産省、文科省、厚労省）関連）

(12) 文部科学省委託費「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究」

（令和元年度～令和3年度）事業の報告について

協会が窓口となって事業実施を行った本委託事業については、事業が完了したことから、「検討結果報告書」として冊子を作成し、関係大学等へ配布した。

3. その他

- ・各種会議等の開催通知及び会議用資料の作成等を行った。
- ・法定帳簿等の整理及び確認を行った。

4. 関連事項

（文部科学省、厚生労働省の主な動き）

- ・文部科学省及び厚生労働省から、当面する諸課題と題して、第1回通常総会（令和4年6月7日）及び第2回通常総会（令和4年11月29日）において説明等があった。
- ・文部科学省の「薬学部教育の質保証専門小委員会（第7回）」（令和4年7月22日）が開催され、質保証に関するとりまとめが行われた。

- ・「薬学系人材養成の在り方に関する検討会」（第3回：令和4年8月16日、第4回：令和4年11月25日）が、文部科学省で開催された。
- ・「新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえたワクチン接種・検体採取の担い手を確保するための対応の在り方等に関する検討会」が厚生労働省で開催された。（第1回開催：令和4年8月23日、第2回開催：令和4年8月31日）
- ・文部科学省主催の「令和4年度 薬学教育指導者のためのワークショップ」が、令和4年8月26日に開催された。
- ・第14回「薬学実務実習に関する連絡会議」（令和4年12月27日開催）が、文部科学省で開催された。
- ・文部科学省「薬学系人材養成の在り方に関する検討会」（第5回）及び「薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に関する専門研究委員会」（第6回）の合同会議（令和5年2月14日）が開催され、「薬学教育モデル・コア・カリキュラム」（令和4年度改訂版）が了承された。
- ・第22回「新薬剤師養成問題懇談会」（新六者懇）（令和5年3月15日）が、文部科学省で開催された。

（その他）

- ・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を推進するために必要な薬剤師の在り方等について、ワクチン接種に関する注射手技の実習を可能な限り取り入れるよう、協会会長名で加盟大学長・薬学部長に協力を依頼した。（令和4年5月17日付）
- ・第7回「日本薬学教育学会大会」は、令和4年8月20日・21日の両日、北里大学薬学部において、オンラインで開催された。
関連して同大会及び来年度開催の第8回大会について、協会の後援名義を承認した。
- ・令和5年度「薬学実務実習広報用ポスター」（薬学教育協議会）について、協会の後援名義を承認した。
- ・薬学教育評価機構による「6年制薬学教育の内部質保証に関するシンポジウム」が、令和4年12月14日に開催された。

II. 理事会・総会等開催状況

会 議 名	開 催 月 日		開 催 場 所 等
(理事会)			
第75回 理事会	令和4. 5. 17	(火)	対面・WEB 会議 「アルカディア市ヶ谷」
第76回 理事会	令和4. 6. 7	〃	〃
第77回 新理事会	令和4. 6. 7	〃	対面会議「アルカディア市ヶ谷」
第78回 理事会	令和4. 7. 5	〃	対面・WEB 会議 「アルカディア市ヶ谷」
第79回 理事会	令和4. 9. 27	〃	〃
第80回 理事会	令和4. 11. 8	〃	〃
第81回 理事会	令和4. 11. 29	〃	〃
第82回 理事会	令和5. 3. 7	〃	〃
(総 会)			
令和4年度 第1回 通常総会	令和4. 6. 7	〃	対面・WEB 会議 「アルカディア市ヶ谷」
令和4年度 第2回 通常総会	令和4. 11. 29	〃	〃

Ⅲ. 各種委員会開催状況

委員会名	開催月日		開催大学等
部局長会議			
第41回 事務局長会議	令和4. 7. 8	(金)	WEB 会議 (青森大学)
第42回 学生部長会議	令和4. 10. 28	〃	WEB 会議 (青森大学)
第42回 教務部長会議	令和4. 11. 18	〃	WEB 会議 (岩手医科大学)
第107回 薬剤師国家試験問題検討委員会・7部会	7部会随時開催		WEB・メール会議で実施
第1回 薬剤師国家試験問題検討委員会	令和4. 6. 10	(金)	WEB 会議 (協会事務局)
教育賞受賞者選考委員会 (第1回)	令和4. 7. 5	(火)	対面・WEB 会議 「アルカディア市ヶ谷」
教育賞受賞者選考委員会 (第2回)	令和4. 11. 8	〃	対面会議 「アルカディア市ヶ谷」
広報誌編集委員会			
第1回 広報誌編集委員会	令和4. 10. 21	(金)	対面会議 「アルカディア市ヶ谷」
第2回 広報誌編集委員会	令和4. 12. 7	(水)	〃
第3回 広報誌編集委員会	令和5. 1. 18	〃	〃
第4回 広報誌編集委員会	令和5. 2. 22	〃	対面・WEB 会議 「アルカディア市ヶ谷」
第1回 実務実習検討委員会	令和4. 9. 14	(水)	WEB 会議 (協会事務局)
第2回 実務実習検討委員会	令和4. 11. 22	(火)	〃

IV. 調査実施項目（調査対象：私立薬科大学・薬学部）

1. 令和3年度 卒後教育実施状況調
2. 令和3年度 実務実習実態調査
3. 令和4年度 入学志願者動向調（志願者、合格者、入学者等）
4. 令和4年度 大学院入学志願者数等調
5. 令和4年度 入学定員及び入学者数調
6. 令和4年度 学生数調（学部学生・大学院生）（令和4年5月1日現在）
7. 令和4年度 専任教員及び職員数調（令和4年5月1日現在）
8. 令和4年度 在学生（3年生）出身校都道府県別調（令和4年6月1日現在）
9. 令和5年度 学部学生納付金調
10. 令和5年度 大学院生納付金調